

# 2025年度 耐火物の基礎学問セミナー

耐火物並びに関関連産業の社員として働き始めた、或いは、中途採用で就職して期間が短い皆さんを対象として、耐火物の基礎技術を学ぶ研修会を開催します。

＜主催＞：一般財団法人岡山セラミックス技術振興財団

＜共催＞：耐火物技術協会中国四国支部、日本セラミックス協会中国四国支部

■ 開催日程：2025年5月15日(木)・16日(金)

■ 会場：ピュアリティまきび 孔雀 (岡山市北区下石井2-6-41 TEL 086-232-0511)

■ 定員：セミナー 両日とも各100名 交流会：50名

※ 収容人数に限りがありますので、定員に達した時点で締め切ります。

■ 参加費：

区分	セミナー(5/15)	交流会(5/15)	セミナー(5/16)
会員	5,500円(税込)	6,600円(税込)	5,500円(税込)
会員外	11,000円(税込)		11,000円(税込)

※ 昼食は各自となります。 ※ 一日のみの参加も可能です。

■ 交流会：耐火物技術協会中国四国支部が主催して聴講者、関係者と講師との交流を図り、今後の仕事に役立つ人脈ネットワークの構築を目的とするものです。

■ テキスト代：(TAIKABUTSU 入門書第5版/2022年4月刊行) 3,300円(税込)

※1) セミナーテキストは上記を使用します。既にお持ちで当日ご持参される方はテキスト代は不要です。

当日のテキスト貸出はできませんので御了承下さい。

※2) 申込時に主催・共催団体の会員の有無をお示し下さい。

※3) 申込書受領後、4月以降に参加費等の請求書を送付しますので、2025年4月24日(木)までにお振込をお願いします。入金確認後準備出来次第、受講票・テキスト等発送します。

■ 当日持参物：テキスト、筆記用具、ノート等を持参下さい。

■ 注意事項：ご都合により欠席の場合は、ご連絡いただくと共に代理の方のご派遣をお願いします。

■ 申込方法：専用の申込みサイトから申込み、または申込書に必要事項をご記入の上、FAXにて、2025年4月7日(月)までに事務局へお申し込みください。

※請求書は、申込書受領後4月以降送付します。

申込専用URL<[https://occ.optic.or.jp/manage/event/event\\_edit/index/147.html](https://occ.optic.or.jp/manage/event/event_edit/index/147.html)>

岡山セラミックスセンターのホームページの該当のセミナー案内から申込可能です。

■ 問い合わせ先：〒705-0021 岡山県備前市西片上1406-18 (一財)岡山セラミックス技術振興財団  
TEL 0869-64-0505 FAX 0869-63-0227 担当：林

FAX 0869-63-0227 林 宛

2025年4月7日(月)まで

## 2025年度 耐火物の基礎学問セミナー 参加申込書

年 月 日

企業名	申込者	部署・役職
所在地 〒 -		
TEL	FAX	Mail
会員の確認 (該当社/者は会員価格で御参加いただけますので必ずお示してください。) ※Oをお願いします。 ①一般財団法人岡山セラミックス技術振興財団 ②耐火物技術協会中国四国支部 (中国四国支部のみ会員価格) ③日本セラミックス協会中国四国支部 (中国四国支部のみ会員価格)		
※ テキスト「TAIKABUTSU入門書第5版/2022.4刊行(3,300円(税込))を使用します。ご購入の場合は欄にO印を ※ 参加費等は、4月24日(木)までにお振込下さい。(請求書は、4月以降送付予定) ※入金確認後に受講票等送付します。振込予定日 年 月 日		

<参加するセミナーにO印> <購入希望はO印>

No.	氏名	部署	5/15(木)	5/15(木) 交流会	5/16(金)	TAIKABUTSU 第5版
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

■ プログラム 第1日目 5月15日(木) ピュアリティまきび 孔雀 (岡山市北区下石井2-6-41)

時 間	内 容
9:00- 9:05	開会あいさつ 一般財団法人岡山セラミックス技術振興財団 理事長 矢 吹 巧
9:05-10:20 (75分)	講義1「耐火物に用いられる各種原料の種類と用途」 品川リフラクトリーズ株式会社 耐火物事業本部 調達部門 原料資材部 主任部員 <small>やま した きょう へい</small> 山 下 恭 平
	TAIKABUTSU 入門書の内容をベースに耐火物で使用される各種原料の特徴について概説する。
10:20-10:30	休 憩
10:30-11:30 (60分)	講義2「耐火物の種類と特性-耐火れんがを中心に」 黒崎播磨株式会社 技術研究所 共通基盤研究センター マネージャー <small>かみ おひで とし</small> 神 尾 英 俊
	TAIKABUTSU 入門書から「耐火物の種類と特性」、および「耐火れんがの基礎と応用」の内容について概説する。 ・耐火物の定義、歴史、分類、種類、特性、規格等 ・相平衡状態図、酸化物の安定性、各種耐火れんがの特性
11:30-12:30	昼食休憩 (60分)
12:30-14:00 (90分)	講義3「不定形耐火物について -キャストブルを中心に-」 日本特殊炉材株式会社 <small>えん どう よし やす</small> 副部長 遠 藤 善 康
	不定形耐火物のなかで、キャストブルは不定形耐火物の約50%を占める主要な耐火物であるが、その品質特性は計画者、施工者、製造者の3者で決まるため、相互の連携と理解が必要不可欠である。今回は要望に基づいてキャストブルを中心に解説する。
14:00-14:10	休 憩
14:10-15:25 (75分)	講義4「耐火断熱材の基礎と断熱設計」 イソライト工業株式会社 技術室 室長 <small>おお の けん</small> 大 野 健
	耐火物入門書をベースに、耐火断熱れんが、セラミックファイバー等、断熱材の種類や基本的特性の解説と、断熱設計の事例を紹介する。
15:25-15:35	休 憩
15:35-16:50 (75分)	講義5「耐火物の試験評価技術概説」 一般財団法人 岡山セラミックス技術振興財団 参与 <small>うち た しげ き</small> 内 田 茂 樹
	「耐火物入門書 第5版」の第11章に基づいて概説する。耐火物に馴染みのない初心者を対象に、専門用語(業界用語)の説明を織り込みながら、各種評価試験の概説を行う。評価試験の原理、設定条件の意味付け、実炉(実機)との関連性などを説明する。

■ 交流会 5月15日(木) ピュアリティまきび 千鳥

時 間	内 容
17:15-18:45	講師、聴講者、関係者との人的・技術的交流を図る交流会です。

■ プログラム 第2日目 5月16日(金) ピュアリティまきび 孔雀

時 間	内 容
9:00-10:15 (75分)	<p>講義6「耐火物製造プロセス技術」 黒崎播磨株式会社 窯炉製造事業部 瀬戸内工場 マネージャー 武 田 耕 太 郎</p>
	<p>「TAIKABUTSU 入門書 第5版」をもとに耐火物の製造プロセスについて講演を行う。また、設備管理、品質管理手法も紹介する。</p>
10:15-10:25	休 憩
10:25-11:40 (75分)	<p>講義7「耐火物の用途」 品川リフラクトリーズ株式会社 技術研究所 工業炉技術部 主任部員 戸 田 義 大</p>
	<p>鉄鋼、セメント、ガラスや非鉄金属分野等の製造炉と使用される耐火物やプロセス概要について、「TAIKABUTSU 入門書 第5版」に基づいて紹介する。</p>
11:40-12:40	昼食休憩(60分)
12:40-13:20 (40分)	<p>講義8「耐火物施工副資材 - アンカーメタル -」 並田機工株式会社 CS部 技術調達課 主任 中 岡 朋 也</p>
	<p>アンカーメタルの品種、特徴、用途の説明、熱間脆性長用隙間材『ナミカラー』の特徴及びアーくスタッド溶接の紹介をする。</p>
13:20-13:30	休 憩
13:30-14:45 (75分)	<p>講義9「築炉技術の基礎」 株式会社広築 広畑事業所 事業所長 赤 松 秀 樹</p>
	<p>「TAIKABUTSU」入門書の内容に沿って、れんが積みを中心にその他の施行を含めた築炉技術の基礎について解説する。</p>
14:45-15:00	休 憩
15:00-16:00 (60分)	<p>特別講演 「鉄鋼製造の高温プロセスと界面現象」 日本製鉄株式会社 顧問 笹 井 勝 浩</p>
	<p>(概要) 鉄鋼製造の高温プロセスとそこに存在する異相界面での現象について概説する。特に、様々な界面現象が生じている連続鋳造用ノズルの閉塞については、研究途上ではあるが熱力学、反応速度論や界面化学を武器にその現象解明に迫る。</p>